

秋田県農林水産業・農山漁村振興基本計画
第3期ふるさと秋田農林水産ビジョン



平成30年3月
秋 田 県

新時代を勝ち抜く！ 農林水産業の成長産業化を目指して



本県農林水産施策の展開方向を明らかにするため、この度、農林水産業及び農山漁村の振興に関する基本計画である「第3期ふるさと秋田農林水産ビジョン」を策定いたしました。

本県では、広大な農地と豊かな水資源、さらには、米づくりに適した気候条件を背景に、長きにわたり稲作を中心とした農業が展開され、全国屈指の米産県として、国民に食糧を安定的に供給する役割を果たしてきております。

こうした中、国内の米消費量が一貫して減り続ける一方で、農業所得を向上させ、本県農業の持続的な発展を図るため、ここ数年は、特に複合型生産構造への転換に向けた施策を集中的に実施してまいりました。

これまでの取組の結果、園芸メガ団地の整備が進んだことなどにより、えだまめやねぎ、キク等の園芸品目の生産が飛躍的に拡大したことに加え、新ブランド「秋田牛」のデビューや、果樹・花きのオリジナル品種の育成等により、複合化が進展し、農業産出額が大きく増大するなど、本県の積年の課題である米依存からの脱却が着実に進んできております。

地域産業の担い手不足や都市部との賃金格差の拡大など、地方を巡る情勢が厳しさを増す中で、こうした「勢いのある芽」を支え、育て上げることが「あきたの元気創造」には不可欠であり、農林水産業においても、若者が夢を抱いてはばたけるよう、意欲ある方々の思いにしっかりと応え、明るい展望を切り開いていくことが何よりも重要であると考えております。

こうした観点から、「第3期ふるさと秋田農林水産ビジョン」では、収益性の高い複合型生産構造への転換を一層加速するとともに、生産現場での労働力不足の顕在化を見据え、ICTやロボット等の革新技術を導入し、農林漁業の生産性向上を図りながら、本県農林水産業の成長産業化に向けた施策を積極的に展開することにしております。

私は、農林水産業は、秋田の礎であり、農山漁村の発展なくして秋田の発展は見込めませんし、同様に、地方の発展なくして日本の成長はありえないものと考えております。

このビジョンの実施期間である4年間で、本県農林水産業の成長産業化を確かなものとする期間と捉え、農林漁業者はもとより、市町村や関係団体関係者など、オール秋田体制で、ビジョンの実現に向けて全力で取り組んでまいります。

結びに、この計画の策定に当たり、県議会をはじめ、秋田県総合政策審議会、現場の生産者や農業関係団体の皆様など、多くの方々から貴重な御意見をいただきました。関係者の皆様方に心からお礼を申し上げます。

平成30年3月

秋田県知事

佐竹敬久

contents 目次

1 第1編 第3期ふるさと秋田農林水産ビジョンの策定にあたって

第1章 第3期ふるさと秋田農林水産ビジョンの策定	1
1 策定の趣旨	1
2 実施期間	2
3 計画の位置づけ	2
4 ビジョンを実現するために	2
(参考) 秋田の農林水産業と農山漁村を元気づける条例(抜粋)	5
第2章 我が国の農林水産業を取り巻く情勢	6
1 情勢の変化	6
2 国の新たな動き	11
3 本県農林水産業の特色	14
第3章 第2期ふるさと秋田農林水産ビジョンの成果	22
1 これまでの施策の検証	22
2 主な課題と今後の推進方針	26
3 検証結果を踏まえた施策の方向性	29

2 第2編 第3期ふるさと秋田農林水産ビジョンの目指す姿

第1章 目指す姿	31
1 施策の視点	31
2 おおむね10年後の姿	31
第2章 第3期ふるさと秋田農林水産ビジョンの概要	32

3 第3編 目指す姿を実現するための施策展開

第1章 第3期ふるさと秋田農林水産ビジョンの施策体系	36
第2章 施策の展開方向	39
施策1 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成	39
方向性-1 秋田の農業をリードする競争力の高い経営体づくり	41
方向性-2 幅広い年齢層からの新規就業者の確保・育成	43
方向性-3 多様なルートから秋田に呼び込む移住就業の促進	44
方向性-4 農業労働力の安定確保と農作業の軽労化の促進	46
方向性-5 秋田で活躍する女性の活動支援	47
施策2 複合型生産構造への転換の加速化	48
方向性-1 大規模園芸拠点を核とした戦略作物の更なる生産拡大	51
方向性-2 「しいたけ」や「えだまめ」など日本一を目指す園芸産地づくり	52
方向性-3 秋田のオリジナル品種による果樹・花きの生産振興	53
方向性-4 大規模畜産団地の全県展開	55
方向性-5 秋田牛や比内地鶏など秋田ブランドによる畜産振興	56
方向性-6 先端技術と融合したアグリテックによる生産効率の向上	57
方向性-7 秋田の農林水産業の発展を支える研究開発の推進	58
施策3 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用	59
方向性-1 業務用や特定需要など実需と結びついた米づくりの推進	61
方向性-2 次代を担う秋田米新品種デビューと販売対策の強化	62
方向性-3 省力化技術やICT導入による超低コスト稲作経営の確立	63
方向性-4 複合型生産構造への転換を支える基盤整備の促進	63
方向性-5 水田フル活用による自給力の向上	65

施策4 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化	66
方向性-1 異業種連携による6次産業化の促進	69
方向性-2 企業とタイアップした流通・販売体制の構築	70
方向性-3 秋田の強みを生かした農林水産物の輸出促進	71
方向性-4 秋田の「食」の柱となるオリジナルな商品の開発とブランディング	72
方向性-5 幅広いパートナー企業や流通チャネルを活用した販路の拡大	73
方向性-6 エリアやターゲットを戦略的に選定した秋田の「食」の輸出拡大と、独自性の高い誘客コンテンツとしての活用	74
方向性-7 GAP等による安全・安心対策の強化と環境保全型農業の推進	75
施策5 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化	76
方向性-1 秋田スギを活用した新たな木質部材等による需要拡大	78
方向性-2 林業の成長産業化に向けた生産・流通体制の強化	79
方向性-3 産地間競争に打ち勝つ木材総合加工産地づくりの推進	81
方向性-4 次代の秋田の林業をリードする人材育成	81
施策6 つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興	83
方向性-1 つくり育てる漁業の推進による水産資源の維持・増大	85
方向性-2 秋田の海・川資源を生かした水産ビジネスの展開	86
方向性-3 次代を担う漁業者の確保・育成	87
方向性-4 漁港等生産基盤の整備促進	88
方向性-5 「全国豊かな海づくり大会」等を契機とした水産業の活力向上	89
施策7 地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり	90
方向性-1 多様な資源を生かした地域ビジネスの展開	92
方向性-2 里地里山の保全管理と鳥獣被害対策の強化	93
方向性-3 森林の多面的機能の高度発揮	94
方向性-4 地域を守る防災・減災対策と施設の保全管理の強化	95

4 第4編 新時代を勝ち抜く！攻めの農林水産業発展プラン

第1章 基本的な対応方向と主要施策等	96
1 基本的な対応方向	96
2 主要施策の構成	96
3 具体的な施策展開	97
第2章 重点プロジェクト	
1 園芸や畜産の大規模拠点整備による複合型生産構造への転換の加速化	99
2 「しいたけ」や「えだまめ」など日本一を目指す園芸産地づくり	102
3 中山間地域の資源を生かした特色ある農業の展開	104
4 販売を起点とした秋田米の生産販売対策の強化	106
5 産地づくりと一体となった基盤整備の促進	110
6 企業とタイアップした国内外への流通・販売体制の強化	112
7 地域の農林水産業を牽引する即戦力となる担い手の確保・育成	114
8 多様なルートから秋田に呼び込む移住就業の促進	118
9 先進的な労働力調整モデルの展開とサポート体制の充実	120
10 先端技術の活用による次世代型農林水産業の確立	122

5 第5編 農林水産業の展望 ～10年後の姿～

6 第6編 経営モデル（営農類型）

7 第7編 参考資料

資料1 用語解説	148
資料2 目指す成果(目標)一覧	151
資料3 重点プロジェクト目標一覧	155
資料4 施策体系一覧表(索引)	157

